

令和8年度 第2回 総合支所連絡会議 要旨

日時 令和8年9月1日（火）

午前10時45分～午前11時4分

場所 庁議室

【報告事項】

(1) 総合支所の抱える課題及びその対応経過について 【資料1・2】

① 総合支所の抱える課題及びその対応経過（資料1）

- ・資料1について、第1回総合支所連絡会議において、今後の進め方について審議・承認をいただき、課題整理の様式を統合したことから、前回との単純比較ができないため、前回件数の記載は省略している。
- ・案件数は全14件で、このうち今回解決した案件は1件である。以下、主な案件について説明する。
- ・1ページの総合支所共通の「石巻市地域防災計画における市民目線からの公助の定義及び対応すべき範囲の明確化について」は、令和8年2月の地域防災計画改訂に加え、防災出前講座や各総合支所管内での周知機会の確保により、自助・共助・公助に関する周知体制が整備された。
- ・避難所等のハード面については、個別案件ごとに対応を検討することとし、現時点で一定の対応が図られたことから、本案件は「完了」と整理した。
- ・河北総合支所所管の「河北上品山牧場の在り方について」は、令和8年6月から放牧対象農家へのアンケートを実施するとともに、7月及び8月に預託者互助会との意見交換を実施しており、現在「検討中」としている。
- ・雄勝総合支所所管の案件については、現時点で大きな進捗はない。
- ・桃生総合支所については、前回までに課題を一旦整理したことから、今回は掲載していない。
- ・北上総合支所所管の案件についても、現時点で大きな進捗はない。
- ・牡鹿総合支所所管の「網地島地区における訪問介護サービス（ヘルパー）の確保について」は、令和5年11月のキックオフ会議以降、十分な協議の機会が設けられておらず、状況の改善に至っていないことから、介護福祉課に対して、牡鹿総合支所との協議の場を設けるよう依頼している。

② 総合支所の抱える課題及びその対応経過【予算案件】（資料2）

- ・予算を伴う案件数は全14件であり、現時点で対応が完了した案件はないが、進捗があった案件について説明する。

- ・河北総合支所所管の「本地第1ため池廃止」については、農林課において令和8年度に発注予定となっている。
- ・また、「境樋門（基幹用水路含む）及び山崎樋門（基幹用水路含む）の改修整備」については、県の基幹ストックマネジメント事業に位置付け、改めて県へ受託申込みを行っており、受託された場合には、今後、調査及び工事の実施が見込まれる。
- ・さらに、「石巻市小船越字山畑地区内の市道改良について（河北中学校線避難道路整備事業）」は、令和8年7月に通学路の合同点検を実施し、対策が必要な延長約260mについて、年次計画により整備を進める方向で調整している。
- ・雄勝総合支所所管の「漁港内ソーラー式照明灯の老朽化への対応について」は、順次整備を進めており、令和8年度は船越、桑浜、明神地区の3地区に、それぞれ2基ずつ設置する予定で進めている。
- ・河南総合支所所管の「広渚地区都市計画区域内の土水路改良整備について」は、小規模宅地開発対策事業費により予算措置しており、令和8年度も引き続き広渚地区内の水路整備を実施する予定である。
- ・また、「後埠道路の改良について」は、令和8年度から総合支所対策費により事業を実施しており、関係機関との協議等を進めているほか、現在、市から東北電力に移設に向けた設計を依頼している状況である。
- ・北上総合支所所管の「神割崎自然公園トイレ改修及び障がい者に対応した駐車スペースの整備について」は、令和8年度に安全柵の改修工事を発注しており、同年12月の完了を予定している。
- ・牡鹿総合支所所管の「給分漁港における漁港施設整備」については、令和7年6月に梯子の設置工事が完了しているものの、地元からの要望には船揚げ場の整備も含まれていることから、引き続き対応を検討していくこととなる。

〔質疑・意見等〕

なし

(2) 各総合支所の近況について

○ 水澤河北総合支所長

- ・行政委員との連携については、春と秋の年2回、全ての行政委員宅を訪問し、挨拶及び地域の状況確認を行っている。
- ・また、現場案件等への対応で行政委員の居住地域付近を訪れた際には、必要に応じて随時訪問し、情報交換を行うよう努めている。
- ・このほか、行政委員会、まちづくり委員会、河北地区の防災連絡会等を年3～4回程度開催しており、こうした機会を通じて行政委員との連携強化を図っている。

○ 佐藤雄勝総合支所長

- ・今年度は、6月上旬までに各地区会長への訪問を終え、地域の状況や要望の把握を行っており、主な要望として、漁港内の浚渫や梯子の設置など、漁港施設の整備に関するものが多く寄せられている。
- ・また、鹿対策に関する要望も多く、銃による駆除は再開されたものの、依然として農作物被害や鹿と車両との衝突事故が発生している状況である。
- ・このほか、県道の草刈りや補修等に関する要望も多く、県土木事務所に対応を依頼している。
- ・最近では、雄勝地区において倒木が多く発生しており、今年度は倒木を原因とする停電が2回発生している。大雨や強風時に限らず、平常時にも発生しており、地域課題の一つとなっていることから共有させていただく。

○ 斉藤河南総合支所地域振興課長

- ・例年7月頃に行政委員との面談を実施しているが、今年度は時期を早め、5月中旬から下旬にかけて実施し、市からは、今年度から開始するデマンドタクシーの世帯協力金について、制度の趣旨や内容を説明し、徴収への協力を依頼した。
- ・行政委員からは、例年と同様に、道路の補修や沿道の樹木伐採、草刈り等に関する要望が寄せられているほか、西部地区では、猪による被害に関する相談や要望も寄せられている状況である。
- ・河南地区全体に共通する課題として、空き家・空き地の管理が十分に行き届いていないとの意見が多く、多くの地区から挙げられている。
- ・このほか、震災後に他地区から新たに転入した住民が増加した地域では、地域コミュニティの希薄化や地域役員の担い手不足が課題として挙げられている。

○ 渋谷桃生総合支所長

- ・行政委員との面談を継続して実施しているほか、会議以外の機会でも、日常的に声掛けや電話等により意見・要望の把握に努めており、要望があった場合には、可能な限り時間を置かずに対応するよう努めているほか、今年度の面談では、多くの行政委員から、これまでの対応について感謝の声が寄せられているところである。
- ・一方、行政委員の1人から、行政委員報酬の増額について要望があった。内容としては、旧町は範囲が広く、資料配布等の業務に自家用車の使用が不可欠であることに加え、近年の燃料費や物価の高騰、公務員を含む賃金上昇の状況を踏まえ、「なぜ行政委員の報酬は上がらないのか」との意見が示された。
- ・これに対し、当方からは、地域によって行政委員の役割や活動実態が異なることや、こ

れまでの経緯等もあることから、報酬の見直しは容易ではない旨を説明した。

- ・行政委員本人も、要望したからといって直ちに報酬が引き上げられるものではないことは理解しており、こうした意見があることを市として認識してほしいという趣旨での発言であったことから、今回共有させていただいた次第である。

○ 佐々木北上総合支所長

- ・行政委員については、日頃から積極的に総合支所を訪れ、要望等を寄せていただいていることから、今年度は、可能な限り行政委員宅を訪問し、要望に対する回答を行うとともに、意見交換を実施している。
- ・これまで、北上地区内に買い物ができる場所やコンビニエンスストアの出店を望む声が多く、行政委員から寄せられていたところ、先日、株式会社ローソンが過疎地域での事業展開を進める「地域共生型コンビニ」の全国第1号店が同地区内にオープンし、多くの地域住民から喜びの声が寄せられている。
- ・本件は、行政のみで解決できる課題ではなかったが、関係機関との連携により実現に至ったものであることから、今後も地域の事業者等と連携しながら、様々な地域課題の解決に取り組んでいきたい。

○ 及川牡鹿総合支所長

- ・4月に各行政委員を訪問し、地域の状況や要望等の把握に努めており、要望事項は、昨年度からの継続事案が多く、市道の補修や倒木対応、漁港施設の改修等に関するものが多く寄せられている状況である。
- ・今年度は、金華山地区の行政委員から、震災以降、郵便物の配達が行われていないことについて、郵便局に配達再開を働きかけてほしいとの要望があったため、郵便局と協議したところ、令和8年10月から金華山地区への郵便物の配達を再開することとなった。
- ・また、今年度は大雨等に伴う避難所の開設機会が増えており、その都度、行政委員にも協力をいただいている状況である。

〔質疑・意見等〕

なし

【その他】

なし

【出席者】

齋藤市長、渡邊副市長、工藤副市長、宋戸教育長、鈴木総務部長、鈴木危機管理部長、明日企画

部長、水澤河北総合支所長、佐藤雄勝総合支所長、斉藤河南総合支所地域振興課長（代理出席）、渋谷桃生総合支所長、佐々木北上総合支所長、及川牡鹿総合支所長、今野市民生活部長、三浦保健福祉部長、中村産業部長、今野建設部長、阿部病院局事務部長、須田会計管理者、富澤教育委員会事務局長、小菅危機管理部危機管理監、千葉総務部次長、高橋行政経営課長、高橋行政経営課長補佐、渥美行政経営課行政経営係長、佐藤行政経営課主任主事、林行政経営課主任主事、阿部行政経営課主事

以 上